

◆『現代民俗学研究』執筆細則

(1)構成

「論文」「研究ノート」は、(1)和文タイトル・氏名・所属、(2)英文タイトル・氏名、(3)英文要旨、(4)キーワード、(5)本文、(6)註、(7)文献、(8)図版およびその説明文等、で構成する。「翻訳」「批評」は、(3)英文要旨と(4)キーワードは不要とする。

「論文」「研究ノート」は、採択決定後に Web 公開用の和文要旨の提出を求める。

(2)レイアウト

(1)～(7)の配置のほか、1 ページあたりの行数・字数、文字のフォント・ポイント数、章・節タイトルの付け方については、別添の《レイアウト見本》に完全に従うこと。とくに1 ページの文字数・行数は43 字×40 行を遵守すること。

(3)本文

本文中の文字遣いとしてはつぎの点に留意する。また誌面の統一のため、採択決定後の編集の過程で、下記以外の文字遣いについても若干修正する場合がある。

(a)英字およびアラビア数字は、すべて半角を用いる。

(b)数量表現は、「一、二、三」でなく「1、2、3」を用いる。固有名詞等ではこの限りではない。

(c)記号類（「」＝など）は、全角を使用する。伸ばし記号「—」は全角ダッシュとし、ハイフンやマイナスなどと混用しない。ただし英文表示中の記号（./- など）は半角文字とする。

(d)特殊な外国文字や異体字等を使う場合にはエントリーシート送付時に問い合わせること。

(4)要旨

英文要旨は150～250words とする。英文要旨に限り、採択決定後に、ページ数を変更しない範囲で差し替えを認める。

(5) 註および文献の書式

文献表の書式はつぎの通りとする。この他、翻訳書・欧文文献については本誌最新号や一般的な書式を参照されたい。

古家信平 2009 「現代民俗学の課題」『現代民俗学研究』1

坪井洋文 1970 「日本人の生死観」論文集刊行委員会編『岡正雄教授古稀記念論文集 民族学からみた日本』河出書房新社

柳田國男 1990 (1946) 「先祖の話」『柳田國男全集 13』筑摩書房

本文中の引用はつぎの通りとする。

[山田 2009a: 12; 2009b: 131-135; 鈴木 2009 (1997)]

両端は全角の大カッコを使用する。苗字と年の間、およびコロン・セミコロン後には半角スペースをいれる。引用が複数ページにおよぶ場合は半角ハイフンでつなぎ、数字の省略をしない。原発表年を併記したい場合は全角の丸カッコを用いる。

(6)図版および説明文等

図・表・写真（本細則中では「図版」と総称する）は、それぞれに通し番号、タイトル、説明文・出典（本細則中では「説明文等」と総称する）を付すこと。

表は原則としてエクセルで作成する。図および写真は JPEG など一般的な保存形式とする。

(7)提出方法

図版を含むすべてを電子媒体で提出する。電子化が不可能な場合はエントリーシート送付時に照会されたい。

提出の際は、MS-Word 等標準的なワープロソフトを使用し、**(2)**の指示に従って完全レイアウト状態の原稿を作成した上で、1 点のファイルにして送付する（図版および説明文等がある場合は、本文中の希望する位置に貼り込み、完成原稿の体裁としておくこと）。この状態の原稿をそのまま査読用原稿として用いるので、図版等の仕上がりには十分注意すること。

完全レイアウト状態で規定ページ数におさまらない原稿は受理しない。また図版の別添提出や、原稿欄外の朱筆による挿入箇所の指示等には応じない。

図版およびその説明文等は、採択決定後に原データの提出を別途求める。この際、図版および説明文等のレイアウトを変更したり、図版の再作成を求めたりする場合は、編集委員会の指示に従うこと。

(8)投稿先

提出の際は、別途公表するアドレスに電子メールで送付すること。原則として郵送には応じない。

(2009 年 5 月 19 日決定)

(2011 年 3 月 19 日一部改正)

(2012 年 4 月 14 日一部改正)